

TOSHIN Hearing NEWS

2025 年 12 月発行

J-HINT、J-Matrix test を搭載したハイエンドモデル オーディオメータ「AA-H2」を発売

リオンは、最新の検査ニーズに応える多彩な新機能を搭載したハイエンドモデルのオーディオメータ「AA-H2」を9月1日に発売しました。なかでも、新たに搭載する J-HINT、J-Matrix test は、雑音のある環境における言葉の聞き取り能力（雑音下語音聴取能）を測定する検査で、オーディオメータとして両検査を搭載するのは、本製品が世界初※1となります。これは、従来の語音聴力検査（単音節・数字）と異なり、文章を提示することから、日常生活により近い環境下での語音聴取能の評価を可能にするものであり、今後、補聴器や人工内耳などの装用効果を客観的に評価する手法としての活用が期待されています。

本製品は従来製品「AA-H1」と比べて約2倍となる15.6インチの大画面タッチパネルディスプレイや、マスキングの必要性および、推奨するマスキングレベルを表示するマスキングアシスト機能、語音検査において回答を直接入力できるタブレットなどを採用しており、効率性を向上させています。さらに、高周波数の気導聴力検査や4チャンネル（同時使用2チャンネル）スピーカ出力への対応によって、より多様な検査環境や研究用途での貢献が可能です。

※1 2025年7月現在（リオン調べ）



詳細はこちらから <https://www.rion.co.jp/news/2025/08/news-250801.html>

コンパクトながら幅広い検査に対応した誘発反応検査装置「Audera® Pro」を発売

リオンは、聴覚機能の評価や診断に最適な誘発反応検査装置「Audera Pro（オーデラ プロ）」を7月1日に発売しました。本装置は、コンパクトながら、ASSR（聴性定常反応）検査やEP（誘発電位）検査、OAE（耳音響放射）検査※2に対応し、大学・総合病院やクリニックにおいて幅広く精密な聴覚検査を行うことが可能です。また、これらの検査は音に対する耳や脳の反応を自動で測定するため、乳幼児や高齢者、意思表示の難しい方の聴覚評価にも適しています。ASSR 検査は、周波数別の聴力推定を脳波により他覚的に行う検査です。新生児聴覚スクリーニングで実施される自動 ABR（聴性脳幹反応）検査や OAE 検査に加え、近年では、より周波数特異的かつ定量的な評価が可能な ASSR 検査の臨床ニーズが高まっています。ASSR 検査は、補聴器適合や人工内耳適応判断、聴覚障害児支援において有効な検査として位置づけられ、乳幼児や重度難聴患者等への精密な聴覚評価手法として、医療現場での導入が拡大しています。両耳・多周波同時測定といった技術進歩により、検査時間の短縮や測定信頼性の向上も実現し、今後ますます医療現場での活用が進むと考えられます。

※2 Audera Pro フルバージョンのみ実施可能な機能です。

目次

- 1 オーディオメータ
「AA-H2」を発売
- 2 誘発反応検査装置
「Audera® Pro」を発売
- 3 ヒアリングコンソーシアム
- 4 店舗紹介
- 5 全店インターネット予約が可能に



詳細はこちらから <https://medpo.rionet.jp/medport/product/detail/?tid=ER060009>

日本補聴器販売店協会が第3回ヒアリングヘルスコンソーシアム講習会を開催

2025年9月14日に岡山市で(一社)日本補聴器販売店協会中国支部が主催する第3回ヒアリングヘルスコンソーシアム講習会が開催されました。本講習は2023年に第1回が開催されて以降、毎年開催されています。

午前は(一社)日本補聴器販売店協会育成委員会の竹田利一委員長が講師となり、「補聴器適正販売ガイドライン～各自治体における補聴器購入費助成制度の現在(2024.12.01現在)～」をテーマに講習が行われました。全国的な広がりを見せる各自治体の補聴器購入費助成制度の現状や「販売店における補聴効果の確認法」、顧客を耳鼻咽喉科医療機関へ紹介するための書式として(一社)日本補聴器販売店協会が作成した「補聴器装用に係る診療のお願い」等の解説を通して補聴器の適正供給について論じられ、認定補聴器専門店で質の高いフィッティングを受けた補聴器装用者の満足度は欧米諸国並みの水準であることも紹介がありました。

午後は岡山大学病院聴覚支援センターの片岡祐子准教授による、「耳鼻咽喉科医と補聴器技能者の本音から紐解く補聴器導入に必要なビジョン」をテーマにした講習が開始され、片岡准教授から補聴器販売従事者にはフィッティングスキルを磨くとともに、補聴器以外のデバイスの知識や福祉制度に精通すること等が求められることや、日頃から耳鼻咽喉科医と信頼関係を構築していくことの重要性が述べられました。とりわけ伝音部に障害がある難聴者や人工内耳の対象となる難聴者へのアプローチは耳鼻咽喉科医との連携が必須であるとも強調されました。

最後に「超高齢社会における難聴と脳機能・認知機能」というテーマで国立病院機構東京医療センター感覚器センター聴覚平衡覚研究部聴覚障害研究室の神崎晶室長の講習があり、実際の臨床テストの様子や結果が紹介されながら、難聴がもたらすリスクや補聴器装用によって変化する脳機能・認知機能について解説がありました。認知機能を保護していくにあたっては社会参加の頻度を増やしていくことが重要であり、それを阻害する難聴に対して補聴器や人工内耳で早期介入していくことは非常に有用であるという話でした。

店舗紹介

トーシン・垂水補聴器センター

2025年10月7日 新規オープン



垂水区近郊のお客様の利便性を向上するために、垂水店を新規出店することになりました。垂水駅西口を出て、すぐ目の前のウエステ垂水東館2階にあります。

住所：〒655-0029
兵庫県神戸市垂水区天ノ下町 1-1
ウエステ垂水 2階
TEL：078-707-3341
FAX：078-707-3000
営業時間：午前10時～午後5時
定休日：日曜・祝日・第2,第4土曜日

トーシン・岸和田補聴器センター

2025年12月9日 移転オープン



トーシン岸和田補聴器センターが移転改装工事を行い皆さまに快適な空間でご利用いただけるようリニューアルオープン。駅近で店内も広くなりました。

住所：〒596-0825
大阪府岸和田市土生町三丁目6番1号
ミラモール東岸和田駅前2階210-1
TEL：072-438-4133
FAX：072-438-4132
営業時間：午前10時～午後5時
定休日：日曜・祝日・第2,第4土曜日

11月1日よりトーシン全店でインターネット予約が可能に



トーシン補聴器センター各店が配布させていただいております、「紹介状」や「道順のご案内」などの紙媒体に、インターネット予約用のQRコードを追加いたします。それをスマートフォンで読取りご来店ご希望店舗の店舗情報ページを表示していただくか、ブラウザで「トーシン補聴器」と検索していただき、当社ホームページから店舗情報を表示いただくと「ご来店予約」のバナーが現れます。そこからご来店要件とご来店希望日時を選択いただければご予約いただけます。なお、インターネット予約にはメールアドレスとお電話番号の登録が必要となりますので、お電話でのご予約も今まで通り受け承っております。



be heard
Toshin

TOSHIN Hearing NEWS 発行元

東神実業株式会社
トーシン・補聴器センター

本社：〒550-0005 大阪市西区西本町2-4-7

TEL：06-6531-2541 FAX：06-6531-3398

URL：https://www.toshin-ha.co.jp/